

要援護世帯への除雪支援

問 支援策の拡充等について。
答 現段階では考えていないが検討を進め、対応は一本化を検討する。



雪下ろし

市の鶏「芝地鶏」

問 飼育数と保護・展示について。
答 市内で30羽、優良鶏の審査会の開催費を補助。花菖蒲まつりに出展している。



芝地鶏

三条市の子育て支援

問 2人目以降の保育料を軽減する条件の拡大について。
答 市単独では財政状況を踏まえ慎重に検討。国の動向を注視し、適正な保育料の設定に努める。

市の職員体制

問 一般任用職員の賃金水準は生活給としてどうか。
答 現状で妥当であると考えている。

学校給食調理場の民間委託

問 全て委託することのリスクをどのように考えているか。
答 業務を継続できる業者を選定する。献立や食育は市の責任で、学校栄養職員が常駐し内容を確認。保護者に対し説明会を開催する。

市長の市政に対する「姿勢・態度」について

『公職選挙法違反を問われている「告発状」の捜査状況について』
問 現状の市長に対する捜査状況。
答 本件については、既に警察で受理されており、今後検察で起訴、不起訴の判断がなされる。告発が受理された段階で自動的に送検される。私自身のコメントは検察の判断が出てから。基本的考えは12月議会で答えた通り。

問 昨年11月に県警が受理して4カ月経過。異常なまでに長期間であるが。
答 あなたは警察でもなければ、検察でもない。

公共交通政策の今後の方針について

問 J R保内駅西口設置について、その後の動きを伺う。
答 三条市として、新潟県鉄道整備促進協議会を通じてJ R東日本に対し、同駅西口新設を要望した。引き続き要望していく。

米の需給調整は

問 来年から政府による米の生産調整が廃止される。米価が暴落しないように市としても需給調整に取り組むべきでないか。
答 地域再生協議会を存続、強化させ米の需給調整に対応したい。

融資制度の充実を

問 三条市小規模企業者振興資金の融資限度額を引き上げるべきでないか。
答 保証協会と連携を密にし、国の動向を注視していきたい。

問 今でも自分の正当性を主張するのか。
答 前回答えた通り。

行政の「価値判断」と仕事の進め方に関して

中央公民館「演台テーブル」の現状復帰について
問 「演台テーブル」の修理に1年半近くの時間を要したが。
答 限られた予算の中で備品の修繕、管理に対応。

三条小学校クローズ後の行政判断

問 「避難場所」と「選挙の投票所」はどうなるのか。
答 4月以降、避難所は第三中学校、投票所は中央公民館を予定。

実学系ものづくり大学について

問 建設事業費とその財源は。
答 施設建設に要する経費については検討中であり、現時点ではお示しできない。財源については、一般財源に加え国土交通省の都

公契約条例の制定を

問 公共工事の発注や指定管理等の業務委託に際して現場の労働者に適正な賃金・労働条件を確保するため、公契約条例を制定すべきでないか。
答 国において労働者保護の法律は整備されている。従業員の労働条件は適正に確保されているので必要ない。

マイナンバー制度の取り扱い

問 事業所に発送する住民税「特別徴収税額の決定・変更通知書」は、従業員の同意がない場合でもマイナンバーを記入して送付するのか。
答 マイナンバーは記載して通知する。

道路敷地内私有地の課税について

問 道路上の私有地は分筆してなくても非課税にすべきでないか。
答 分筆登記をしなくても面積が確定できれば非課税の可能性もある。

持続可能な財政の維持について

市再生整備計画事業として取り組み、財政負担の軽減を図る。

問 大崎中学校区小中一体校建設事業、旭・裏館統合保育所建設事業、スポーツ・文化・交流複合施設建設事業、図書館等複合施設建設事業、実学系ものづくり大学の設置、看護系高等教育機関の誘致、新最終処分場建設事業、新たな工業流通団地の造成と大きな事業がめじろ押しだが、現状での概算事業費の見込みはどうか。

答 総事業費は約296億円で、一般財源負担額は約39億円、起債（借金）は約177億円、そのうち交付税算入が約40億円であり、地方債償還および償還費に係る交付税算入額を含めた実質的な財政負担は176億円程度と見込んでいる。

児童クラブについて

問 児童クラブの受け入れ学年を小学6年生まで拡大していないのは、新潟県内においては加茂市

エピペンについて

問 児童クラブ内での食物アレルギー（アナフィラキシー）対策に有効なエピペンの使用方法について市独自の講習会等を開いてはどうか。
答 小学校の養護教諭を講師とした研修会や県主催の研修会に参加し、知識の向上に努めている。

問 児童クラブ内での食物アレルギー（アナフィラキシー）対策に有効なエピペンの使用方法について市独自の講習会等を開いてはどうか。

答 小学校の養護教諭を講師とした研修会や県主催の研修会に参加し、知識の向上に努めている。